

2014年度公開講座【続・古典を読む-歴史と文学-】「いま明かされる古代34」 於金鶏会館

第1回 6/28(土) 午後2:30~4:30

尾上 陽介(東京大学 史料編纂所 古文書古記録部門 准教授)「史料としての日記- 記主の意識を探る -」

第2回 7/5(土) 午後2:30~4:30

大平 聡(宮城学院女子大学 学芸学部 人間文化学科 教授)「厩戸皇子立太子の構想- 聖徳太子の実像を求めて -」

第3回 7/19(土) 午後2:30~4:30

田島 公(東京大学史料編纂所 古代史料部門 教授)

「仁寛の伊豆国大仁配流と「邪教」真言立川流- 永久の変(千手丸事件)と院政成立の背景 -」

第4回 7/26(土) 午後2:30~4:30

佐藤 全敏(信州大学人文学部 人間情報学科 歴史学講座 准教授)「信濃国のある荘園と仏像- 歴史と美術の間 3 -」

第5回 8/2(土) 午後2:30~4:30

五味 文彦(放送大学教養学部教授・東京大学名誉教授)「歴史の転換を古典文学に探る」- 『万葉集』『古今和歌集』『枕草子』 -」